

# 令和7年 お茶づくり技術情報（No.4）

2025年4月16日  
佐賀県茶業技術協会  
佐賀県茶業試験場

## 1. 気象と生育

### 1) 一番茶の生育状況

表1 作況園の萌芽期（やぶきた、樹齢24年生）

| 本 年   | 前 年   | 前5か年平均 |
|-------|-------|--------|
| 3月28日 | 3月30日 | 3月28日  |

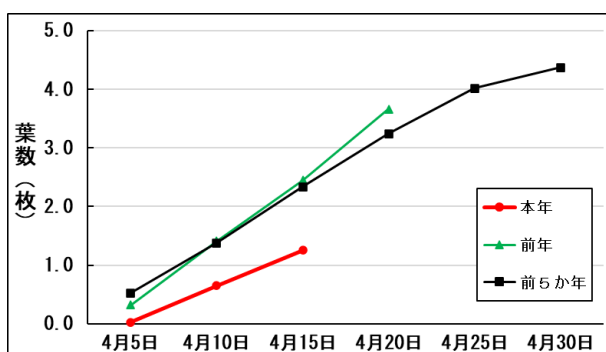


図1 生育調査（葉数）

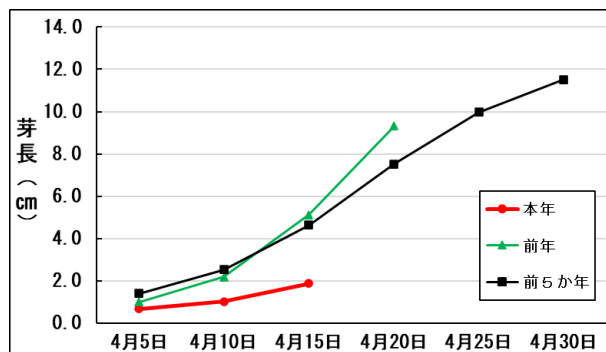
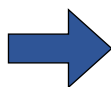
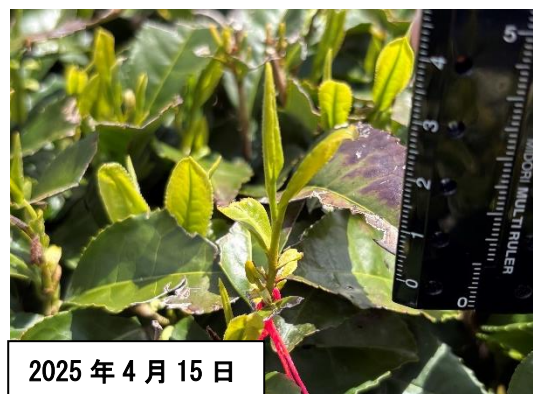
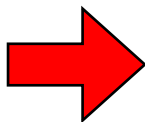
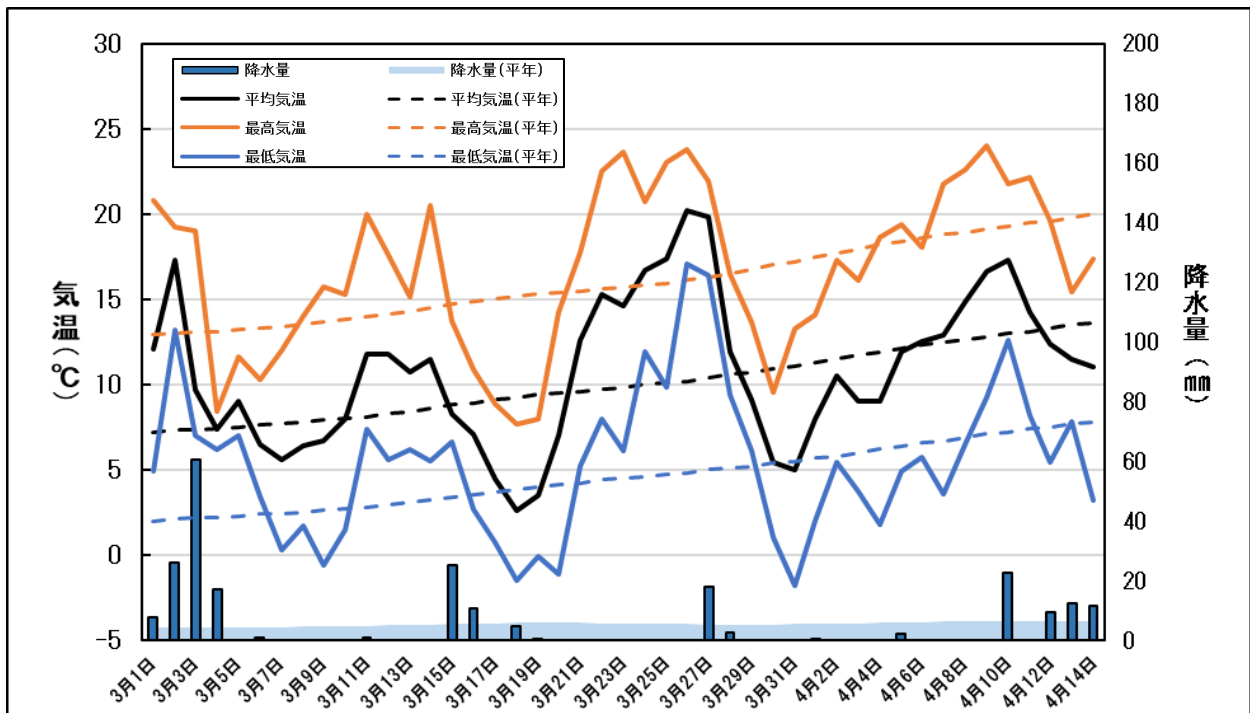


図2 生育調査（芽長）

- (1) 場内の作況園(やぶきた)では、萌芽期は前年より2日早く、前5か年平均と同等であった。その後は、低温によって生育が遅れており、葉数は4月10日時点で0.7葉（前5か年平均1.4葉）、4月15日時点で1.3葉（前5か年平均2.3葉）であった。
- (2) 芽長は、4月10日時点で1.0cm（前5か年平均2.5cm）、4月15日時点で1.9cm（前5か年平均4.6cm）であり、平年と比べ3～5日遅れで生育しており、摘採も同様に遅れることが予想される（前5か年平均4月27日）。



## 2) これまでの気象（3月～4月、嬉野アメダスポイント）



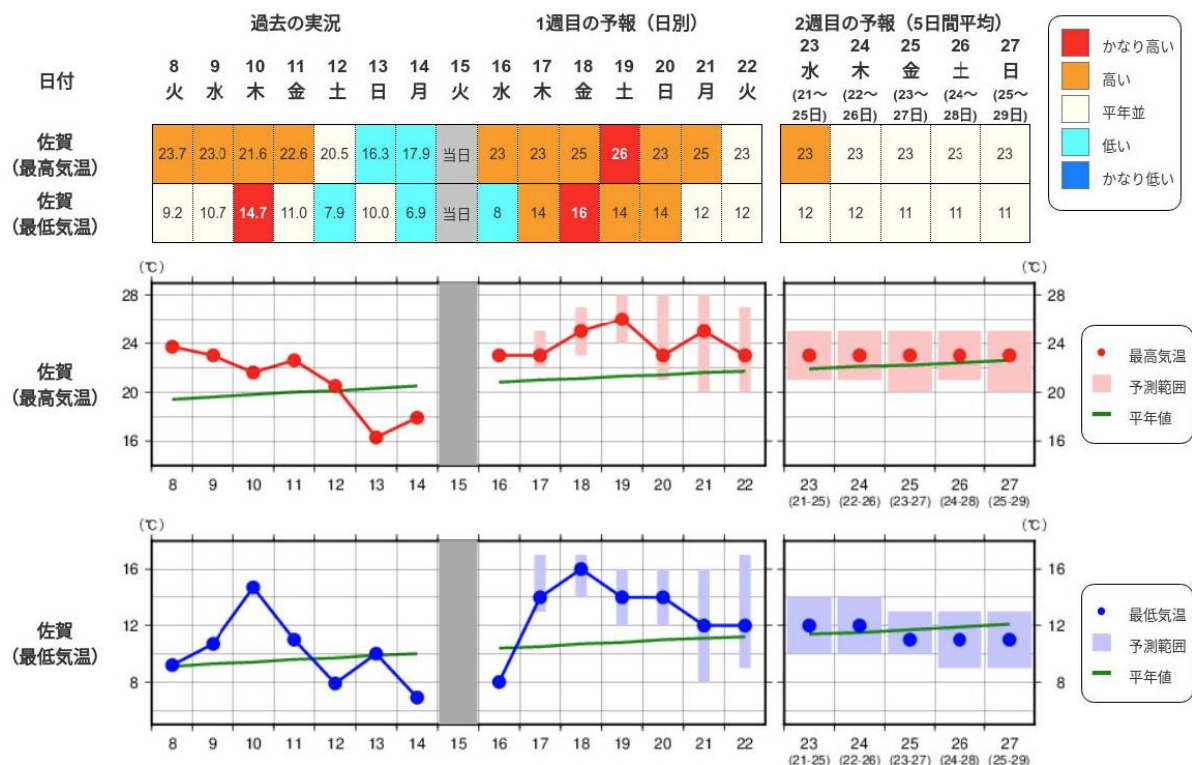
注) 平年値は 1991 年～2020 年の平均値を表す。

(1) 3月21日～27日は平年よりもかなり気温が高く、特に26日の平均気温 20.2℃は、平年の平均気温 10.2℃と比べ 10℃高かった。一方、28日以降は気温が低下し、31日には最低気温 -1.8℃を記録した。

(2) 4月1日～15日の降水量は 58.5 mmで、平年値 91.3 mmの約 6 割と少雨であった。

## 3) 今後の気象の見通し

### ■ 2週間気温予測（気象庁、2025 年 4 月 15 日更新）



## ■ 1か月予報（気象庁、令和7年4月10日発表）

向こう1か月の天候の見通し

九州北部地方（山口県含む）（4/12～5/11）

|               | 平均気温（向こう1か月）              | 降水量（向こう1か月）               | 日照時間（向こう1か月）              |
|---------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 九州北部地方（山口県含む） | 低20 並40 高40%<br>平年並か高い見込み | 少40 並30 多30%<br>ほぼ平年並の見込み | 少30 並30 多40%<br>ほぼ平年並の見込み |

- （1）向こう1か月の気温は、暖かい空気に覆われやすいため、平年並か高くなる見込み。
- （2）天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多くなる見込みのため、向こう1か月の降水量は、ほぼ平年並と予想されている。

今後の生育予測や防霜対策、被覆時期の調整に気象庁の予報サイトを活用しましょう！



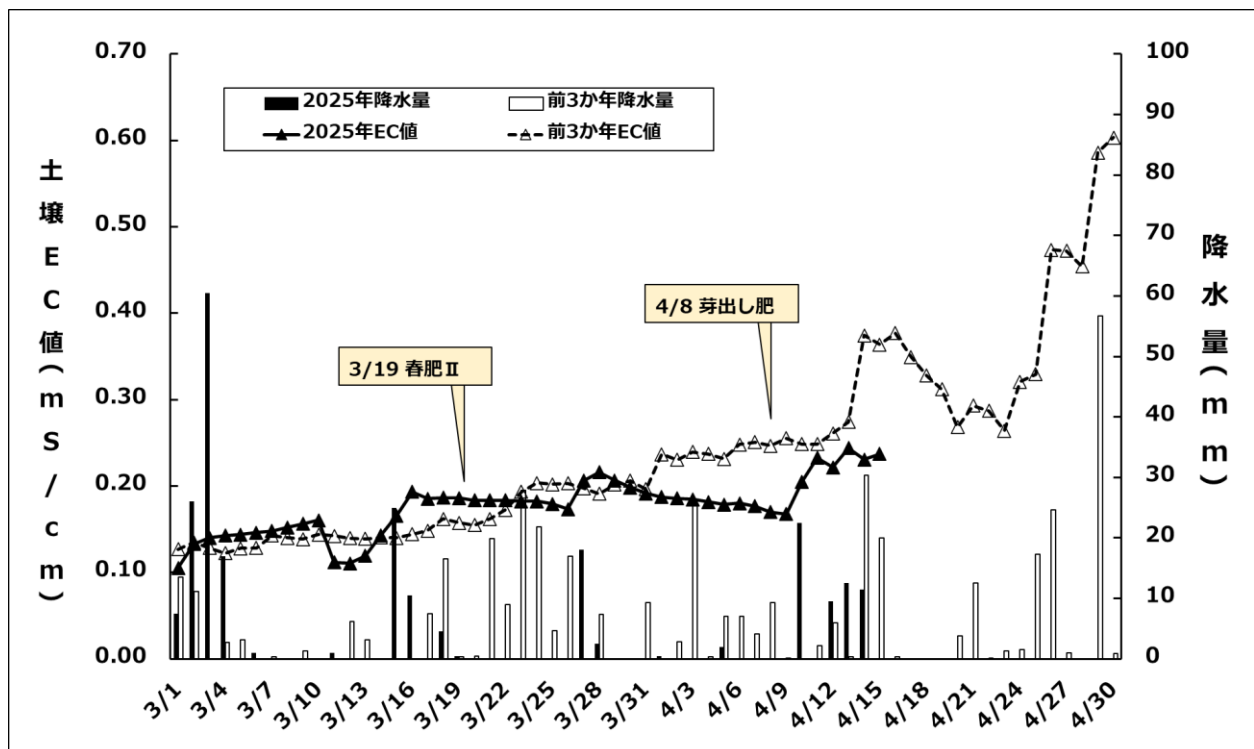
1か月予報（九州北部）



2週間予報（佐賀県）

## 2. 今後の管理

### 1) 施肥管理



注）本年の土壌 EC 値は、雨落ち部の深さ 25 cm 部分に埋設した土壌センサーにて測定し、実測値に基づき補正した値を示す

- （1）土壌 EC 値は 3/19 の 2 回目の春肥後、27 日の降雨で上昇しており、4/8 の芽出し肥後、連日の降雨で再度上昇している。

## 2) 被覆

- (1) 資材は、遮光率 70%程度で、穴・汚れ・異臭のないものを使用する。
- (2) 被覆開始は、新芽の葉数や生育速度を考慮し、摘採時期より判断する。基本は 2.5～3.0 葉期とし、被覆期間は 10 日間程度とする。極端な若芽への被覆は減収につながるため避ける。また、高温等で生育が進む場合には早めの被覆を心掛ける。
- (3) 直前の気象条件により新芽生育は異なるため、気象庁の 2 週間気温予報の確認、茶園巡回で芽の観察をこまめに行うなど、適期の被覆開始となるように心がける。
- (4) 被覆後は、風による煽りや擦れによる葉傷みが発生しないように、資材の固定を確実にを行う。
- (5) 被覆資材の除去は、摘採の直前が望ましく、新芽がなるべく日光にあたる時間を少なくし、色戻りを避ける。除去時は持ち上げるように外し、葉を傷めないようにする。

## 3) 凍霜害対策

- (1) 凍霜害の影響を受けた場合は、以下の対応策を参考に管理を行う。

| 生育ステージ          | 被害程度                      |            | 対応策                       |
|-----------------|---------------------------|------------|---------------------------|
| 萌芽期～<br>2 葉開葉未満 |                           |            | 被害の程度にかかわらず、そのままにしておく     |
| 2 葉開葉～<br>4 葉開葉 | 1)部分的で被害部と無被害部がはっきりしている場合 |            | そのままにしておき、拾い摘み、または部分摘採を行う |
|                 | 2)部分的で被害部と無被害部がはっきりしない場合  | ①被害芽率が低い場合 | そのままにしておく                 |
|                 |                           | ②被害芽率が高い場合 | 被害部を除く程度に軽く整枝する           |
|                 | 3)被害が全面的の場合               |            | 被害部を除く程度に軽く整枝する           |
| 摘採期直前           | 1)被害が部分的の場合               |            | 拾い摘み、または部分摘採する            |
|                 | 2)被害が全面的の場合               |            | 刈り捨てて二番茶の生育を待つ            |

- (2) 荒茶品質の低下を防ぐため、被害葉が混入しないように浅摘みとする。
- (3) 新芽および再生芽の生育が不揃いになるため、摘み遅れに注意する。



これまでの  
お茶づくり技術情報は  
←こちらから